

料金後納

ゆうメール

一幸建設は昭和53年の設立以来、三河エリアで地域密着の建築と不動産に携わる会社です。本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ不躾ではございますが、私どもの会社を知っていただきたいとの想いから、一度でも名刺交換などご縁を賜りました方に、ニュースレターを送付しております。『みんなの幸せをカタチにする』仕事を通じて関わる全ての人との幸せと社員の日々成長を糧に、地域の皆様に必要とされるお役立ち企業を目指しております。  
東三河での建築と不動産に関することでしたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。

代表取締役 山本敬輔 営業スタッフ一同

## NEXT 50 ビジョン 地域の建設業としてどう生き残るか

### 年頭所信表明 2026年を、覚悟の年として

2026年は、当社にとって「我慢の年」ではありません。覚悟を決めて、一步前に踏み出す年だと考えています。資材価格の高止まり、構造的な人手不足、金利の動き、そして省エネ・環境対応の義務化。以前と同じやり方で楽に成果が出る時代ではありません。ただし——悲観するほどの話でもない！



これから数年で、建設会社は明確に分かれます。価格だけで選ばれる会社か、価値と理由で選ばれる会社か。安さは一時。信頼は長期。一幸建設は、迷わず後者を選びます。これからは、**建て替えるか、活かすか。壊すか、残すか。その判断を、プロとして一緒に考えられる会社でありたい。**

ZEB・ZEH化や省エネ、建物の長寿命化は流行ではなく、経営と暮らしを守るための現実的な選択肢です。私たちは、自社で実践し、失敗も含めて学び、その経験を糧として地域に還元します。口先だけの提案は致しません。先が読めない時代だからこそ、「何かあつたら、あそこに聞けばいい」そう思つてももらえる、地元の顔が見える会社でありたい。派手なことはできません。ただ、逃げません。誤魔化しません。その積み重ねこそが、次の50年をつくる会社の礎になると信じています。

本年も、社員の皆さん、協力業者の皆様、取引先企業・地域の皆様とともに、この時代を“越える側”に立つべく邁進いたします。これからも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 新春 仕事始め 全体オンライン朝礼 1月5日（月）

今年の仕事始めは、初の試みとして、オンライン（Zoom）による全体朝礼を実施しました。本社・営業所・現場をオンラインでつなぎ、全社員が参加する形での開催となりました。

近年、「脱・働き方改革」という言葉も聞かれるようになりましたが、当社ではDXを一つの武器として、**社員一人ひとりが自らの仕事と向き合い、自身の価値を考え、意見を持ち、それぞれの役割の中でリーダーシップを發揮すること**を目指しています。付加価値の高い働き方を実現するため、社員全員が同じ方向を向き、協力しながら取り組んでいくことを、改めて全社で確認する機会となりました。



地元密着東三河での不動産と建築のことなら小さなことでもお気軽にご相談下さい！

※ニュースレターがご不要な場合はお手数ですが 0532-46-9336 まで

# 2026年度 建築・不動産税制改正情報 最新版

## 1. 各種税制特例措置の適用期限延長

住宅取得支援や良質な住宅供給の促進を目的として、以下の特例が延長される見込み

- **低未利用土地の長期譲渡所得特例**

→ 令和10年（2038年）12月31日まで延長

- **住宅ローン減税制度**

→ 適用期限を延長し、子育て世帯等への借入限度額上乗せや床面積40m<sup>2</sup>の緩和特例も延長

- **新築住宅の固定資産税軽減**

→ 減額措置の適用期限を令和13年（2031年）3月31日まで延長

- **登録免許税の軽減税率据え置き**

→ 土地売買登記の税率1.5%を据え置きで延長

- **不動産取得税の軽減措置延長**

→ 土地購入～住宅新築までの時間要件などが延長

- **居住用財産の譲渡特例の延長**

→ 損益通算や繰越控除などの特例措置も延長

(※それぞれ適用対象・条件あり)

## 2. 特例要件の見直し

- **床面積基準の緩和**

住宅ローン減税や贈与税非課税措置などで、対象となる住宅の床面積基準が40m<sup>2</sup>以上へ緩和される方向

## ZEB・ZEH化リモデルショールーム



2050年の  
未来を先取りした  
ZEB化ショールーム  
リユースを実現  
築32年のオフィスビルの  
リユースを実現

特徴と機能	
快適性の比較	社員満足度や業務効率が向上したかのデータの比較。
エネルギーコストの比較	光熱費をどの程度削減（カーボンニュートラルの実現）できたかの具体的なデータを示すことが可能。
リフォーム工程の説得性	仮設事務所を併用し「ワンフロア、ツーフロアあづつ改修を行うことで、事業を継続しながらでも建物全体をリニューアルできる」という事例の検証。
工事過程と実際の建物との比較	「既存建築物」建物調査・長寿命化工事→ZEB化リニューアルの過程と実際の建物を比較。ビフォーアフターを体感。
ZEB化に必要な技術の説明	省エネ化のために必要な改修工事や設備更新、創エネ設備等、実物を見ながら理解を深めてもらう。

常時見学可能！お気軽にお問い合わせください。 ☎ 0120-150-564